

**たんぽぽ**

NO 182  
H 14年 8月 1日  
一 発 行 一  
7869-1217  
熊本県菊池郡  
大津町森54-2  
社会福祉法人  
三気の会  
**三気の里**  
☎096-293-8100

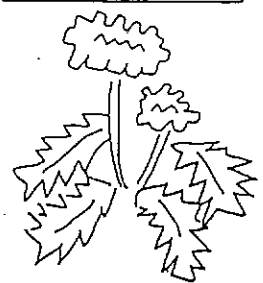
雑感

施設長 松田 健

職員意志が統一したためです。感謝しています。

想起するのは私だけでしょか。ここでしか吸えないという強迫観念が加わって余計に吸う本数が多くなり。伏流煙を余計に吸い

球規模の殺人行為を繰り返しています。これだけ汚染された空気の中にいながらまず第一に心配すべきことが何であるか考えるべきであると思ってしまうのです。偉そうなことを書いてゴメンなさい。やはり、タバコは駄目です。皆さんやめましょう。



◎一年ぐらい前の話です。施設内に段ボールの中に4、5匹の捨て猫が放置されていました。一匹以外はすぐに死にました。悲しいことです。生き残った一匹を黒澤指導員が持ち帰り育ててくれました。今でも元気にしているそうです。ありがたいことです。

関係ありませんが、先日施設内でイタチとウサギを見ました。私の病気が進行したと心配しました。が他の職員も見たと聞き、安心しました。

◎夜勤者はほとんど寝ずに頑張ってくれています。夜以前と比べると本当に静かになりました。夜勤者が居室に張り付いていません。朝も7時前にウロウロする人もほとんどいなくなりました。

◎上司が毎日部下に「気を付けるように。」等の注意を促す発言をすると、今まで500回に一回起こっていた事故が千回に一回になったというデータがあります。このことから二つのことを考えました。注意を喚起することによって減少させることができる。それでも事故はなくならない。どちらの考えを支持したらいいのでしょうか。両方を肝に銘じて職務に励みたいと思います。特に入所施設はその性質上常に事故を孕んでいるからです。

◎いつの間にか列車や飛行機が区間によって全面禁煙となり、長距離の新幹線や特急列車も2、3両だけ認めてやるといった慈悲深い姿勢がうかがえます。役所や病院へ行っても喫煙室・所以外での喫煙を認めていません。ガスを

想起するのは私だけでしょか。ここでしか吸えないという強迫観念が加わって余計に吸う本数が多くなり。伏流煙を余計に吸い具合が悪くなります。筒井康隆の小説に喫煙者狩りが始まり地下組織が作られ抵抗運動をしたが最後の一人となり、群衆に包囲され国会議事堂により登り警察により撃ち落とされ、喫煙者は絶滅したという話がありました。現在のファッショの状況を風刺して書かれたものが現実味を帯びています。といったことをいくら書いても私は喫煙を正当化しようとは思っていません。喫煙は害悪であり、迷惑にならないように隠れて吸うべきだと真剣に思っています。一つだけ言いたいことがあります。100年前と今を比べて下さい。どれだけ空気が汚れているか。車の排気ガス、工場から出る煙による大気汚染。さんざん人間は地





# 班 ね ニュース

## 3班・人気商品

三班の作業製品で今一番の人気商品はタイル押しピン。1cm四方のタイルに押しピンが付いたものです。これがシンプルでいてとてもきれいだし、かわいいときたら売れないはずがないですよ。タイル押しピンは麻衣さん、牛島さん、藤崎さんの3人で作り上げられ、岩永さん、鶴崎さんによって袋詰めされ商品として仕上がります。麻衣さんのコルク貼り、牛島さんの磨き、藤崎さんの押しピンつけ、岩永さんの厚紙に押しピンを刺す仕事、鶴崎さんの袋詰め、誰1人かけても商品として皆さんの元には届かないのです。今の時代、安くてかわいいものはいくらでも売ってありますが、利用者みんなが製品に向かっている姿を見ていると、どんなものよりも良い商品に思えます。皆さん是非買ってください。

PS・最近3班の製品を、結婚式の引き出物の一つとしての注文を受けました。大量注文も受けています。

石丸

## 5班・見習わなきゃな

はあ〜暑い暑い、ちょっと外に出ただけで大粒の汗です。皆さんクーラーと友達ではありませんか？こんな暑い最中、ものすごい成長を見せている女性がいます。5班のアイドル的存在！由美さんです。彼女のすごいところは、自分の作業計画を、職員に頼らず立てるようになったことです。又その作業をこなして行く中で、その作業が終わらなかつた場合は、次の日の作業に自分で組み込んでいるのです。作業も、もういいですよと言っても責任感からかある程度きりが良いところにならないと終わらずに黙々と頑張っています。作業場所も、職員のなかなか手の届かない場所を自然と選んでいます。まさにかゆいところに手が届く！ですよ。後これだけじゃないですよ、温室が汚くなってきたなーと職員が頭の中で思っている矢先に由美さんが先手を打ち、「片付けといたよ」と笑顔で伝えてくれるのです。もう彼女がキラキラと輝いて見えます。職員は彼女に頭が上がりません。由美さんを見習って頑張ってください！

木佐貫

## 2班・海物語

三角にある出来たばかりだという海水浴場に、2班皆で出掛けた。途中コンビにに寄り、各自お弁当を購入、すぐに「これだ！」と持ってくる人もいれば、「本当にそれでいいの？」と訊かれて、真剣に悩む人もいて、短い時間の中にもドラマがあった。ビーチに着くと、昨夜台風が通り過ぎたばかりだというのに（しかも曇天）7、8人の泳いでる人々の姿があり、「どうやら泳げる」という判断を下した2班職員は、昼食を終えるとすぐに、皆の着替えを促した。水着になって一番喜んだのは淳さんだったかもしれない。職員の心配をよそに、大ハシャギで潜ったり、飛び跳ねたり（しかもドンドン沖へと出て行く）していた。方紀さんは静かに笑顔になって海辺を漂い、その近くに由布子さん。博さんはそこがお風呂でも在るかのようには半身浴を楽しんでいる。一裕さんは嬉しそうに波間を歩き回り、その傍を職員に誘われて震えながら逃げ惑う泰貴さんがいた。監視役に徹したのは文彦さん（砂だらけ）、聡士さん。はしゃぎ回った綾子さん、さゆりさん、雰囲気浸かっていた泰さん。そして体調不良だった為、海に入れなかった幸恵さん、明日香さんもいたが、皆それぞれ、今年初の海水浴を精一杯楽しむことが出来ていた。日頃もやしの様な生活(室内作業)をしている2班だけど、小麦色の肌は、三気一番乗りだったかな？

坂本

## 1 班・2 泊 3 日 親子の旅

去る7月4・5・6日に1班恒例の保護者参加による宿泊レクリエーション（山口・福岡方面）が行われました。利用者は保護者と一緒のレクで初日から大はしゃぎ、出発直後からカラオケが止みません。初日は山口の湯本温泉で1泊、露天風呂を満喫し宴会でほろ酔い気分のまま就寝、その後も保護者の方は夜中まで宴会が続いたようです。2日目は福岡へ移動、アサヒビール園見学、福岡タワーへ行きました。福岡タワーでは思った以上に高く保護者にしがみつく人も数名見られました。夕食を早めに済ませグループに分かれて夜の繁華街へ私を含めた6名のグループは博多名物、長浜ラーメンを食べました。松井さん、岡崎さん、石崎さんは、ここで初めて“替え玉”を体験、そして見事に完食、その後も、人差し指を高く突き上げる松井さんのは“もひとつ”のサインなのでしょうか…？

いよいよ最終日は小石原村に行き、“手びねり”を体験、お皿、コップ、茶碗など好きなものを作りました。日頃、親子で作品を作ることはなく保護者には好評でしたが、利用者は…？作品は釜で焼かれ後日、郵送されます。是非、皆さんにお披露目したいと思います。

あっという間の2泊3日の旅行でしたが、またひとつ親子の思い出が増えたことと思います。保護者の皆様、参加と御協力ありがとうございました。それと二日酔いは大丈夫でしたか？ 阿南

## 6 班・宿泊レクリエーションの旅

毎日、蒸し暑い日が続きますが皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、6班は、7月5・6日と一泊二日で福岡方面へ宿泊レクリエーションに出掛けました。台風が福岡に近づいているという中での旅でしたが、まとまった雨には遭遇せず、とてもラッキーな旅でした。今回の宿泊レクリエーションのメインは、野球です。まず、福岡ドームの裏側を見せてくれるバックステージツアーに全員で参加し、福岡ドーム内の予習をした後に、ナイター観戦です。ホークス対千葉ロッテの試合でした。試合はダイエーホークスの圧勝で、皆で風船を飛ばすことができました。ナイターの後は、福岡ドーム付近の博多ラーメン屋に寄り、全員で夜食を満喫しました。皆、一生懸命ダイエーを応援した為かベロリと平らげていました。今回の宿泊レクリエーションは、欠席者ゼロ・体調不良者ゼロを目標としていました。全員が揃って参加できたことに、私は凄く嬉しくて満足しています。それぞれが、自分自身に責任を持ち自分のことは自分で行うという当然のことですが、一人一人の気持ちの中に少し芽生え成長出来たということを実感しています。とても、記念に残る最高の旅でした。皆、ありがとう！

出牛

## 4 班・ビアガーデン🍷

7月18日、私たち4班はお昼からレクリエーションに出掛けました。最初に向かったところは、菊池温泉です。みんな、大浴場でおおはしゃぎ！泳いでいる人も中にはいました次に向かったのは、みんなの好きなカラオケ舞洋一さん、早速マイクをもって流れ出した曲は、なっとなっとなんと！そして神戸…。そうです。クールファイブの曲です。2番目に歌いだしたのは、隆博さん…。宇宙戦艦ヤマト。隆博さんは2回この曲を歌いました。植木さんも負けてはいません。植木さんは、春なののを熱唱しました。うーん、全体的になつかしい歌が多かった様な気がします。

さーてやってまいりました、本日の一番のメニューです。カラオケの後はもちろんみんなお腹がすいていることを予想して向かったところが県立劇場内の七葉レストラン。このレストランのお庭ではビアガーデンがっており楽しみにやって来たところ雨が降ってしまいましたので残念ながらレストラン内で食事をするようになりました。料理が出てくる、出てくる☺もう我慢ができないみんなは我先に食べていました。今回はビアガーデンを楽しむことができず残念に思いましたが、すごく美味しい料理にみんな満足していました。あー美味しかった…。 秦

## 療育雑誌記

## 「信頼と信用」

八木 良江

つい最近の事です。友人たちと雑談しているときに、在る言葉を聞いて以来、その言葉が頭に残り気になる事の一つになっている。「人は信頼しても信用はするな」という言葉。ふと、雑談しながら、いろいろ考えさせられました。信頼とは「信じて頼ること。信用とは「信じて疑わないこと。前文の意味からすると、人は頼っても良いが疑って関わらなければいけないこと？頼ってしまうのは簡単なことだが、信じて疑わないでいられるかというと素直に「はい」とは言えない。私は人から信頼もされて信用もされていると、百パーセント確信して言える人はいないと思う。「疑心暗鬼を生ず」という言葉を知っていますか。疑いの心を持っていて、在りもしない鬼の姿まで見えるように、なんでもないことでも恐ろしくなり不安になる。実際、福祉の仕事を携わっているものにとって、信頼と信用は不可欠なもののように思っていたので、この言葉を聞いたと

きには正直考えさせられました。利用者は自分たちを果たして本当に信頼して信用しているのか・・・「信頼しても信用するな」そう思っているのではないだろうか、まさに「疑心暗鬼」です。利用者との信頼関係は確実ですか？との問いに何人の職員が「大丈夫」と胸を張って言えるだろうか。利用者にも同じことを問いたしてみたい。双方「大丈夫」そう言い切れないのは、何か問題が生じているからではないだろうか。本人達にも気づかない小さな問題。何か問題があるならばその問題の原因を、自分できちんと向き合って解決していく。気持ちは一時的にごまかすことはできると思う。知らないふりをする、気づかないふりをする、ほかのことで気をまぎらわす。そうすれば気持ちは、ほかのことに移っていく。だけど、原因を無くさなければ問題は無くならない。知らないふりをして、まぎらわしても、ふと気が付くと心配したり、気になったり、憂鬱になったりする。そうなるくらいなら、時間がかかっても、大変でも、きちんと問題の原因に向き合うことが、大事なのではないかと思う。大変

なことだけど、それは、誰も変わりにしてくれない。自分と利用者との信頼と信用を高めるためには自分には出来ないことを見極めていくしか無いのだと思う。いろんな人の、たくさんさんの情報やいろいろな意見、そういうものは、何かのときにとても参考になると思う。それを上手に使うことも大切だと思うが、情報や意見は、自分の目で見て、確かめて、考えて、見極めて行くことが大事だと思う。自分や利用者にとって、信頼関係や信用性を深めていくには、それが、必要か必要でないか。信用できるか、できないか。それを決めるのは結局は自分たち（職員）ではないかと思う。もちろん、利用者からの情報や意見も大事だと思う。情報や意見にしばられたり、惑わされてばかりいたら、それらの本当の意味がない。そのためには、何が必要で必要でないか、何が大事で大事ではないか、いろいろな意味での基準があると思う。それらを知って、見極めてから色々な情報や意見を選んでいっても良いのではないかと思う。自分にしか出来ないこと、ひとつでも良いので持っていたいと思う。来年

度から制度が変わります。利用者が施設を選ぶ時代になります。これらが正念場です。「信頼と信用」これらが大きく関わってくるのではないかと思う。問題は多々あると思う。利用者との間だけではなく、保護者との間、職員との間でもそうである。「人は信頼しても信用はするな」利用者が一時でもこのような気持ちを持つことが無いよう、心掛けることがあるのではないか、もう一度胸に手を当てて考えなければいけない。そう思うのは私だけでしょか。話しは変わります。私事ではありますが、養護学校からの現場実習生が多数来園する中に、昔、保育士として就職していたときに、受け持っていた子供が実習生として来園して来ました。あれから十数年経っているにも関わらず、小さかったころの面影はそのままです。三気の里に来てくれたこと、再び元気に成長した彼らに会えたこと、嬉しさが胸が一杯なのです。自分がそれだけ歳をとったことを痛感させられました。ちなみに最初に受け持った子供が今年成人式を迎えることになるのは近日知りました。嬉しさと、もうそん

な歳に、というシヨックが重なり合っている今日この頃です。



就労ケア科だより

作業所での仕事を行うメンバーが決まりました。元田さん、松村さん、橋村さん、隆博さん、荒毛さん、福馬さんの6名です。皆とても優秀な人達で毎日電装作り(電線)を500本から600本作っています。仕事をしている手早さには目を見張るものがあります。御家族の方、職員の方、是非時間のある時に見学されてください。普段、生活の場では見られない真剣な表情でがんばっています。もうしばらく経つと作業所も建つ予定です。始めのうちは戸惑う場面も多々あるでしょうが、皆仕事人として、少しずつでも成長して行ってほしいです。私たち就労ケア科も手助けになれるよう頑張っています。



大橋

事務だより

日差しの強い猛暑が続いており、汗が滝のように湧き出て、朝からでもシャワーを浴びたくなる季節です。屋外での作業のある利用者の方々はほんのりと焼けてきています。先日、私も海に出掛けたということもあり一気に南国の人へと化してしまいました。お蔭様で既に脱皮が始まっています。剥けた後も小麦色をしています。まだまだ暑い日々が続きそうですので、皆様、夏バテ等には十分お気をつけになられて、この夏を満喫して下さい。

小野

### 三気の里メールアドレス紹介

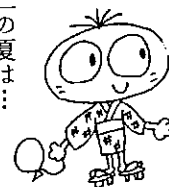
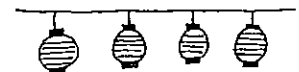
三気の里についてのご意見、要望その他何でも結構ですのでぜひメールをお送り下さい。

皆様の声をお待ちしております。  
URL <http://www7.ocn.ne.jp/~sanki>

E-mail [sanki@seiren.ocn.ne.jp](mailto:sanki@seiren.ocn.ne.jp)



二〇〇二の夏は：



地域支援交流科では、七月二〇日、大津音楽幼稚園の夏祭りに参加し「綿菓子」の出店を任せて頂きました。参加した五人の利用者も笑顔が絶えませんでした。

七月二六日に行われる三気の里の夏祭りでは、森の子供会を招待しました。最初は二〇名程度の参加予定だったのですが、参加希望者が予想以上に多く三十三名が参加される予定です。とてもうれし  
い誤算です。

また、十一月に行われる開園記念祭においては、保護者会の代表の方や三気の家から実行委員会に加わって頂き、昨年以上に細かな準備を着々と進めています。それに伴い、地域の方々への協力をお願い。八月下旬より協賛を募る活動を開始致しますので、適宜よろしくお願い致します。

高橋

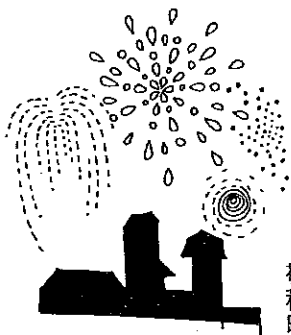
### 後援会ありがとう

- 山室 誠弥・佐藤 和良
- 山崎日出男・中村 秀明
- 須加原 袴・田中 稲男
- 梶山 稔弘・高橋 美行
- 前田 恭男・松岡 淳子
- 橋口 大輝・中野 浩二
- 松本 真彰・澤田 憲治
- 魚谷 康洋・小野 耕三
- 古場 雄二・亀崎 憲
- 田中 孝明・大村 桂子
- 前田 克英・西村 親志
- 萩原 直・牛島 房子
- 八木 秀樹・笠 盛中
- 松本ミチ昭・森木 美樹
- 田中 慶秀・木下 祐一
- 清田 翔平・斎藤ひとみ
- 林田 純子・中田 康則
- 澤田 秀敏・増田 英宏
- 山内久己子

菊陽台病院

医療法人社団 保真会 保田 周一

敬称略

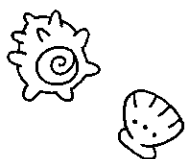


食堂営業中

七月十三日の昼食にサラダバイキングを実施しましたが、いかがだったでしょうか。私達としても初めての試みで戸惑いを感じながらのスタートでしたが、食堂の入室を各班五分ずつずらして頂いたことで、大きな混乱もなく利用者の方一人一人が上手にお皿に盛っていたと思います。バイキングと言うからには食べ放題なのですが、余りにも食べ過ぎと思われる利用者の方にはストップをかせて頂きました(笑)。

食事を終えて、数名の利用者の方が『厨房さん、サラダバイキング楽しかったよ。またしてね。』と話かけてくれました。利用者の方に楽しんで頂けたことは、厨房職員にとって嬉しい限りです。利用者の方のリクエストに応えるためにも、今回の反省点などを考慮して、またバイキングを楽しんで頂けるよう頑張りたいと思います。

恵良



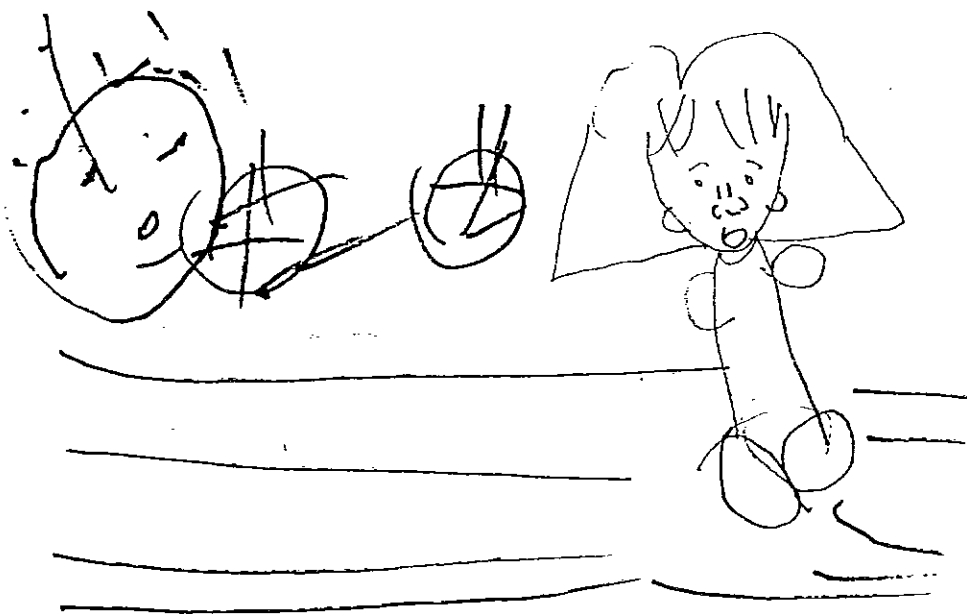
麻生憲剛さんより石けんを頂きました。ありがとうございました。

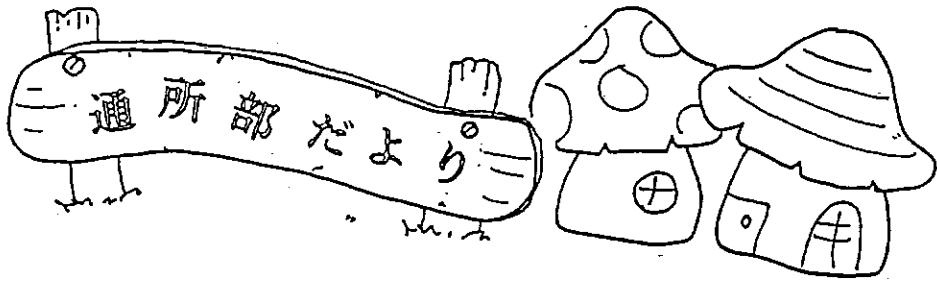
寄付



のんき  
こんき  
げんきコーナ

おひさま兼がサンサンと照る中、ビーチでくつろぐ一人の女性！久美さんの作品です。きつと水着姿なのでしよう。どんな水着なのかまでは残念ながら教えられませーん。海に行きたい思いが込められているのでしよう。それとも今年の夏祭りのテーマが「海」でもあるので楽しみにしていてくれるのかな？





8月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
◎ 3~6日、10~15日、17日、18日、24日、25日、31日 休				1 赤星さんの誕生日(25)	2	3 ◎ 休み
4	5	6	7	8	9	10
11	12 夏季休暇	13	14	15	16	17 ◎ 休み
18 ◎ 休み	19	20	21	22	23	24 ◎ 休み
25 ◎ 休み	26 千川さんの誕生日(17)	27	28	29	30	31 ◎ 休み



通所部通信

『作業業Ⅱ①補充』

前回、作業の流れについて紹介しましたので、今回は作業の様子の一部を紹介したいと思います。

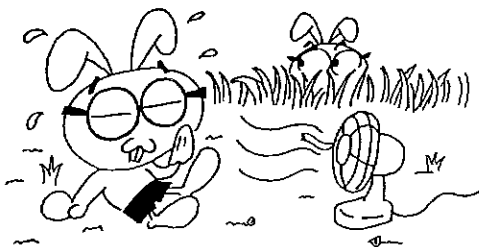
まず、通所部の作業では、作業に必要な資材・自助具・容器の準備と後片付けまで、仲間達それぞれで行うようにしています。それと同じようにして、作業中の資材の補充も自分達で行います。

4月当初は、作業中に資材がなくなっても、ぼんやりと椅子に座っているだけで、何もせずに待っているばかりの仲間達でした。そこで、まず初めに資材がなくなったら、報告することから始めました。報告が出来るようになったら、次に職員と一緒に資材を補充する事を始め、報告したら資材を補充するという事を伝え続けました。それから、少しずつ援助を減らしていくに従い、仲間達が「次は、どうすればいいのだろう?」と、徐々に自分で考えて行動(補充)する事が出来るようになってきました。

最初は、不安そうな表情で補充に行っていた仲間達も、その行為が評価され、間違っていないことが分かってくると現在では、資材がなくなると自ら補充に行き、次の作業に移ることができるようになっています。更には、段ボールの中の資材がなくなると、次の段ボールを開けて資材を補充することが出来るまでになってきています。

次は、予め準備された資材を補充するだけでなく、倉庫から資材を準備出来るようになってもらいたいと思います、現在練習中です。

岩田



8月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日	備考
	◎ 焼さん・植木さん・溝畑さん・柴田さん・坂田さん 西澤さん・坂本さんお誕生日おめでとう!		1	2	3	4	
					夏季帰宅訓練		
						焼さんの誕生日(22)	
5	6	7	8	9	10	11	
	植木さんの誕生日(24)				溝畑さんの誕生日(34) 柴田さんの誕生日(26)		
12	13	14	15	16	17	18	
					坂田・西澤誕生日(28)		
19	20	21	22	23	24	25	
			◎ 誕生会		✍ タンポポ集日 坂本さんの誕生日(37)		
26	27	28	29	30	31		



ボランティアア通信

暑い、暑い夏がやって来ましたね。皆様、いかがお過ごしでしょうか？

さて、夏のイベントと言えば、『夏祭り』。今年は昨年以上に沢山の方々がボランティアで参加して頂けることになり、利用者も職員も大喜び！ありがとうございます。秋のイベント『運動会』『開園記念祭』にも遊びに来て見ませんか？お待ちしております。◎ 平山 ボランティアアありがとう

- ☆生け花 西村 栄子
- ☆ピアノ演奏 井川マリコ
- ☆除草作業 吉永 ゆり
- ☆染め物体験 内田 さよ



〈出張・研修報告〉

- ・6月23日 施設内内部研修 片倉先生
- ・6月27日 ケースカンファレンス レクレーション研修会

出張者 大石真

・7月2日 人権、同和問題に関する 事業主研修会

出張者 松田、植本

・7月2日～4日 指導的職員研修会

出張者 田邊

・7月11日～12日 九州、山口自閉症施設

出張者 松田、伊豆野、佐藤和

・7月19日 施設内内部研修 土井先生講演会

後援会募集のご案内

三気の里では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぽぽ」をお送り致します。

拒振り込み先

口座番号

0197018114902

社会福祉法人 三気の会后援会  
保護者会代表 魚谷 秀文 宛

住所 熊本県菊池郡大津町森5412

一口 3千円  
団体は、一万円より